



とうざん ゆう 東山の雄

一関市立千厩中学校
学校だより 第9号
令和8年6月10日
文責：坂本 真

生徒会スローガンが承認されました！

6月3日（水）の5・6校時に第1回生徒総会が開催され、本年度の生徒会スローガン「翔舞」、3つの活動方針（清く・正しく・美しく）が決定しました。（裏面：議案書）

総会では、たくさんの質問が出されたことにより、活動内容等がより具体的なもの、意味あるものとして理解されていました。提案への賛成意見も多く出され、自分たちのクラスの決意表明は、執行部・委員長への励ましともなりました。生徒会リーダー任せではない自分たちの活動であること認識した時間となりました。大事なものは「みんなで決めてみんなで実行」です。スローガン達成に向けて、活動方針を意識した学校生活を送ってほしいと思います。



思春期講演会で「命の大切さ」を学びました

6月5日（金）に3年生を対象に思春期講演会が行われました。ひとみ助産院の助産師 加藤 先生を講師に招き「思春期のこころとからだ」と題して講演をしていただきました。当日は「二次性徴って何」「思春期の身体の変化・特徴」、「避妊、性感染症」「デートDV」「多様な性」「生命の誕生」などのお話を聞くことができました。自分自身がかけがえのない存在であること、大切な自分と他人の命を大切に思いやりをもって生活することの大切さを学ぶ貴重な時間となりました。



生徒の感想より

- 軽い気持ちで妊娠をしたり、産むことをやめるのは良くないことだと思いました。体や心の発達による「LGBTQ」をバカにしたり、からかったりすることは良くないことだと思ったり、恥ずかしがることではないと思いました。互いに理解し合うことが大切であることを学びました。
- 思春期特有の悩みは誰にでもあるとわかったので安心しました。また、世界にはいろいろな人がいるのでお互いを理解し合って自由に生きられる世界に社会にしたいと思いました。自分が生まれたことは本当にすごいことなので帰ったら親に感謝しようと思いました。
- これから男女ともにいろいろな人と付き合っていく中で自分の心や体を大切に、自分で守るということが分かりました。望まない妊娠をしないためにも避妊や話し合いを大切にしたいと思いました。出産時に赤ちゃんが向きを変えて出てくることにびっくりしたり、受精の確率を知って奇跡なんだと感じることができました。大切に育ててくれた親に感謝して、自分も幸せになりたいです。

第1号議案 令和8年度 生徒会スローガン（案）

しょうぶ 翔舞

【設定理由】

前年度生徒会では「革命」のスローガンを掲げ、活動してきました。このスローガンのもと「清く」「正しく」「美しく」の方針で、千厩中学校の現状を打破し、新しいものに挑戦するための活動を行ってきました。

今年度生徒会では、仲間と共に切磋琢磨し合いながら、全校生徒が一丸となって学校生活をより充実したものにしていく活動を行っていきます。

そこで今年度は「翔舞」をスローガンに掲げ、活動を行っていきます。翔舞には「個性を一人一人発揮しつつ、学校全体ではばたいていく」という意味が込められています。千厩中学校には体育祭や紅白戦など、仲間と共に取り組む行事が多くあります。また、翔舞は行事だけではなく、日常生活や委員会の活動などでも積極的に取り組むことの大切さも表しています。そのため自身の強みを発揮し、互いを認め合いながらより良い学校づくりにつなげたいと考えています。

一人一人が翔舞の意識を持ち、仲間と共に歩みながら努力することで自分自身だけではなく、千厩中学校全体の成長にもつながります。これまでの伝統を受け継ぎながら、それぞれの力を生かしてより良い千厩中学校を目指していきます。

以上のことから、本スローガンを提案します。

活動方針②（正しく）

規則を守り、

何事にも全力で挑戦できる千厩中学校。

【設定理由】

前年度後期生徒会では、「規則正しく、高い意識で活動できる千厩中学校」を目指し、活動してきました。この活動方針のもと、ノーチャイムデー・ノーチャイムウィークや授業態度コンテストなど時間に対する意識や態度を高める取組を行い、また集会時の「無言の整列・移動」の呼びかけも行ってきました。さらに、学校生活点検を行いました。

前期生徒会では「規則を守り、何事にも全力で挑戦できる千厩中学校」を目指して活動を行っていききたいと思います。前年度の活動の課題点として、「取組終了後、態度が戻っている」「整列・移動時に私語などが見られた」という点が挙げられます。これらの課題点を改善するために今年度生徒会執行部では各委員会や中央委員会と連携し、呼びかけや活動を行っていききたいと思います。具体的な活動としては、ノーチャイムデーや正しい廊下歩行・集会時の無言移動・整列の呼びかけなどを行っていきます。これらの活動を通して、当たり前のことを当たり前に行う基盤を創り上げ、「規則を守り、何事にも全力で挑戦できる千厩中学校」を目指していきます。

以上のことから、本方針を提案します。



第2号議案 令和8年度 前期生徒会活動方針（案）

活動方針①（清く）

自分から挨拶ができ、思いやりがあふれる千厩中学校。

【設定理由】

前年度後期生徒会では「挨拶飛び交い活気あふれる千厩中学校」の活動方針のもと、挨拶運動、あいさつエリア設置や目安箱アンケート、みなトモさんとの交流、各種ボランティア活動を行ってきました。それらの取組の課題として、下を向いて挨拶を返さない人や、挨拶する声が小さい人がいることが挙げられました。

そこで、前期生徒会では「自分から挨拶ができ、思いやりがあふれる千厩中学校」を目指します。挨拶をすることで相手との距離が近づき、より思いやりのある行動が増えると考えたからです。執行部では、昨年度の後期生徒会で行ったあいさつエリアを継続していきと考えています。また、学年や学級の枠を超えた挨拶運動も継続して行い、学校全体に挨拶が飛び交うようにしていきたいと思っています。目安箱アンケートも昨年度に引き続き行っていきます。他には、行事を通したみなトモさんとの交流、ユニセフ募金などのボランティア活動を継続していきます。これらの活動を通して「自分から挨拶ができ思いやりがあふれる千厩中学校」を目指していきます。

以上のことから、本方針を提案します。



活動方針③（美しく）

助け合い、共に心を磨き合う千厩中学校。

【設定理由】

前年度後期生徒会では、「環境を整え、心を一つにできる千厩中学校」を目指してきました。具体的には、SFCTや重点清掃の呼びかけ、全校での合唱練習などの取組に力を入れてきました。その結果、生徒の多くが清掃に対する意識が高まったり、合唱練習に積極的に取り組む姿が見られたりするようになりました。一方で、清掃中の私語やふざける人がいたり、合唱中に近くの人と話したりする様子が見られました。

そこで前期生徒会では、「助け合い、共に心を磨き合う千厩中学校」を目指して、様々な活動を継続して行っていきます。昨年度に引き続き、SFCTで始まりと終わりの放送を行うことで、SFCTではない日でも清掃の時間を意識できる習慣が定着すると思います。紙での振り返りは重点清掃の期間のみとなりますが、一人一人が項目を意識して清掃を行えるようにしましょう。また、帰りの会での一斉合唱も実施し、全校生徒が清明支援学校の手話や、生徒会歌の歌詞に自信をもって歌えるように活動していきます。全校で歌う一斉合唱に加え、学年ごとに曲や時間を設定する合唱ウィークも設定したいと考えています。そして、真剣に参加できない人を学級や学年で励まし合ったり注意し合ったりすることが、助け合い、心を磨き合うことにつながると考えます。

以上のことから、本方針を提案します。